

# 世界の水環境保全のための国際的活動経費 1 2 5 百万円（ 9 1 百万円）

水・大気環境局水環境課

## 1．事業の概要

世界の水環境については、近年各地で、急激な人口増加ともあいまって量の不足、水質汚濁、水辺の生態系の変化など様々な問題が顕在化している。これらの水を巡る問題を解決し、世界の水環境を適正に保全していくために、各国の対策や日本等の援助策の実効が挙がるよう、各国の水環境管理施策の向上を支援することが必要である。

本事業は、上記の課題への対応として、「アジア水環境パートナーシップ事業」：水質モニタリングや汚濁防止技術などの情報を収集整理し、関係諸国が共有可能なデータベースを構築、「世界水フォーラム」などの世界の水問題に関する国際会議における、日本の取組や「アジア水環境パートナーシップ事業」の取組の積極的な情報発信、世界の水環境保全における日本の今後の取組の方向についての検討を行っているものである。

さらに、平成 1 8 年度から新たに、「水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業」：水質汚濁や工場などの破損に伴う水質事故等、水環境に係る問題が顕在化している国について、水質など現地調査等による概括調査を実施し、課題の要因分析及び改善・対処方策を検討する。また、これまでの我が国による取組事例の紹介を通じ、我が国及び対象国における行政、民間事業者、N G O や住民等関係者間の対話を推進するためのシンポジウムを開催する。

## 2．事業計画

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| ( 1 ) アジア水環境パートナーシップ事業                  | 平成 1 6 ~ 2 0 年度       |
| ( 2 ) 「世界水フォーラム」などの国際会議における水環境保全活動の情報発信 | 平成 1 7 ~ 2 0 年度       |
| ( 3 ) 世界の水環境保全のための調査研究                  | 平成 1 7 ~ 2 0 年度       |
| ( 4 ) 水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業              | 新規<br>平成 1 8 ~ 2 0 年度 |

## 3．施策の効果

アジア地域をはじめとする世界各国の水環境管理施策が向上することにより、世界の水環境が適正に保全される。

## 「世界の水環境保全のための国際的活動」の概要

世界の水環境については、近年各地で、急激な人口増加ともあいまって量の不足、水質汚濁、水辺の生態系の変化など様々な問題が顕在化している。

水は、命を養う最も基本的な生活基盤であるが、世界では、清潔な水を得ることができない人々がむしろ増えている状況。21世紀に国際社会が取り組むべき重要課題として捉えられ、「21世紀は水の世紀」といわれている。

世界の水環境を適正に保全していくために、日本（環境省）が、各国の対策や日本等の援助策の実効が挙がるよう、各国の水環境管理施策の向上を支援することが必要

- ・水環境対策の最先進国として、経験と技術を多くの地域に最大限伝えていくことが日本の使命
- ・地域の水問題は地球環境全体の問題でもあり、日本は国際社会に責任を有する国として、現に世界各地で起こっている水問題の解決の支援に積極的に取り組む。

- (1) アジア水環境パートナーシップ事業  
アジアモンスーン地域を対象として、水質モニタリングや汚濁防止技術などの情報を収集整理し関係諸国が共有可能なデータベースを構築する。
- (2) 水環境保全活動の情報発信  
「世界水フォーラム」、「国連・水と衛生に関する諮問委員会」など世界の水問題に関する国際会議やそのフォローアップ会合において、日本の取組や「アジア水環境パートナーシップ事業」の取組を積極的に情報発信する。
- (3) 世界の水環境保全のための調査研究  
世界の水環境保全における日本の今後の取組の方向についての検討として、世界の水環境問題の課題の整理や行動面・財政面での支援のあり方などについての調査研究を行う。
- (4) 水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業（18年度から新規）  
水質汚濁や工場などの破損に伴う水質事故等、水環境に係る問題が顕在化している国について、水質など現地調査等による概括調査を実施し、課題の要因分析及び改善・対処方策を検討する。また、これまでの我が国による取組事例の紹介を通じ、我が国及び対象国における行政、民間事業者、NGOや住民等関係者間の対話を推進するためのシンポジウムを開催する。